

No.19 多発している通路 - 転倒の死亡災害事例（2021年）

2021年発生月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	起因物 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者 規 模
12	8 ～ 10	給食調理業務に従事する労働者が、休憩時間中に敷地内の屋外通路を歩行中、足を滑らせ転倒し頭部を強打した。被災者は、脳挫傷により死亡した。	10109	417	2	10 ～ 29
12	4 ～ 6	4トントラックを運転して、荷の運送を行った被災者が、同トラックを車庫に戻す途中でガソリンスタンドに立ち寄り、同トラックの給油を行った後、同ガソリンスタンド内の洗車場に停車した同トラック付近で倒れているところを発見され、医療機関に搬送されたが、同日、急性硬膜下出血により死亡した。	40301	417	2	10 ～ 29
10	12 ～ 14	トラックの荷台から事業場2階の倉庫へ、階段を使用して荷物を搬入している作業中、1階で大きな音がしたため、2階にいた同僚が音がした1階に向かったところ、1階の階段付近に被災者がうつ伏せになって倒れていた。ドクターヘリにより医療機関に搬送されたが、死亡したもの。災害発生状況を目撃した者はいない。	170209	417	2	10 ～ 29
8	6 ～ 8	出張先へ向かう途中、電車乗り換えのため駅ホーム上を歩いていたところ転倒し、後頭部を強く打ち、緊急搬送され、その後死亡した。	170209	417	2	30 ～ 49
8	14 ～ 16	共同墓地において、墓石の清掃等の作業を行っていた被災者が、徒歩で移動中に転倒し、墓所内の石造りの構造物で顔面を打ち、鼻骨骨折等を負った。災害発生の数時間後、被災者は、携帯電話を使用して、同業他社に勤務する知人に連絡し、医療機関に搬送された	80209	417	2	1～ 9

		が、同日死亡した。				
4	16 ～ 18	被災者は、食器を片付けるため、手で皿を持って運搬していた際、床面で転倒し、転倒の衝撃で右大腿骨頸部を骨折した。被災後、被災者は大腿骨骨頭置換の手術を受けたものの、当該手術中に、肺血栓塞栓症を発症して死亡した。	140201	417	2	10 ～ 29
2	14 ～ 16	自社敷地内の樹木剪定作業を終えた後、剪定された樹木の残材の片付けを行っていたところ、床レベルに折りたたんで仮置していた脚立につまづいて転倒し、頭部を強打した。その後、病院にて診察を受け外傷部位の処置を行い、一度会社に戻ってから帰宅したが、帰宅途中の路上で倒れて死亡した。	40201	417	2	100 ～ 299
2	10 ～ 12	被災者の同僚労働者が、擁壁工事に使用する部材を探索するため、地山を床掘した箇所に行くと、被災者が倒れているのを発見したものの。被災者が倒れた様子を見た者はいなかった。なお被災者は、地山を床掘した作業面において使用部材を探索していたものと推定される。	30107	417	2	10 ～ 29
1	12 ～ 14	事業主と被災労働者の2人で薪木をトラック荷台に人力で積載していたところ、被災者が体調不良を起こしたため、その場で座って休ませつつ、事業主は荷台の薪木を搬出して仕事を切り上げようと近所にトラック運搬して10分程度で戻ってきた際、被災者が倒れて嘔吐し意識朦朧状態であるところを発見した。なお、被災者は頭蓋骨（後頭部）骨折等を負っていた。	60209	417	2	1～ 9
1	8 ～ 10	被災者は、バスの運転手。被災日は朝の運行を終え、バスを駐車している車庫から、200m程度離れた事務所に帰社する途中、駐車場が凍結していたため転倒し頭蓋部を強打した。病院に入院し療養していたが、死亡。	40201	417	2	1～ 9

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_38.html